

# 炭鉱存続に向けて、新たな政策実現へ

## 舌辛川の治水対策

舌辛川の富士見橋上手に、真新しい護岸工事がすすんでいます。しかし、工事中の護岸が、5月20の大雨で完全に土砂に埋もれてしまいました。

### 対応策を質問しました

「以前から堆積していた土砂も含めて撤去します。また、北海道はすでに河川の流下断面の調査を始めており、結果が出しだい、道に対して大雨でも大丈夫な対応策を求めていきます」と答弁がありました。



あとで、詳しくお聞きしたら、「実は、村上さんのブログをチェックしていて、これは議会で質問されるなと思って、いろいろ準備していました」とのこと。プリントしたページを課長さんが、そっとかばんから取り出しました。

8月の灯籠流しまでは、土砂撤去も終わる予定だそうです



石炭対策特別委員会では、「ひとつのキーポイントを迎えた。研修事業の存続と、新しい鉱区の可能性と、目標もはつきりした」と存続に向けて市の考えも示されました。私は、「存続に向けて、来年の研修事業が続くかどうかカギ。議会もあげて国に要請すべき」と求めました。

炭鉱存続へ、可能性さぐる  
しかし、6月議会では、世界的な原油高もあり、「国は新たな国内炭の政策をつくってもよいのではないか。新しい鉱区・坑道のこともあり、存続の可能性をさぐりたい」と一転、前向きな姿勢を示しました。

釧路炭鉱の存続について、2月に市長は、「国が新しい国内炭の政策を講じることは難しく、商業採炭ではなく、研修炭鉱として残したい」と答えていました。

## 古くなった市営住宅の建て替え計画が発表される

### < 建て替え時期 >

白樺台	21	23	29年度
阿寒北町	今年度から6年間		
音別海光	2年度		
川北	24	26	28年度
鳥取	25	27	29 30年度
阿寒富士見	26年度から5年間		
音別堤	29年度から10年間		

(旧釧路市内の団地は、一棟の工事に2年間かかる予定です。)

市営住宅のリニューアル計画である「ストック活用計画」が明らかになりました。  
私は、旧市内の川北・鳥取団地について、建て替え年度を前倒しするよう求めました。

### 借り上げ公住

旭橋のたもとで「借り上げ公営住宅」の工事が始まりました。今年十一月に募集し、来年4月から入居となります。この住宅については、「抽選」で入居者が決められます。